

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【公表番号】特表2011-525911(P2011-525911A)

【公表日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2011-039

【出願番号】特願2011-515706(P2011-515706)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|---------|-----------|
| A 6 1 K | 39/12 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/21 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/012 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/108 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/145 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/7084 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/215 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/12 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/14 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/04 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 33/02 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/16 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 35/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 45/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/7008 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|---------|---|
| A 6 1 K | 39/12 | |
| A 6 1 K | 39/21 | |
| A 6 1 K | 39/00 | Z |
| A 6 1 K | 39/012 | |
| A 6 1 K | 39/108 | |
| A 6 1 K | 39/00 | J |
| A 6 1 K | 39/145 | |
| A 6 1 K | 31/7084 | |
| A 6 1 K | 39/215 | |
| A 6 1 P | 31/12 | |
| A 6 1 P | 31/14 | |
| A 6 1 P | 31/04 | |
| A 6 1 P | 33/02 | |
| A 6 1 P | 31/16 | |
| A 6 1 P | 35/00 | |
| A 6 1 K | 45/00 | |
| A 6 1 K | 31/7008 | |

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月20日(2012.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

アジュvant製剤と治療上効果的な量の抗原成分とを含むワクチン組成物であって、アジュvant製剤が、サポニン、ステロール、第4級アンモニウム化合物、およびポリマーを含むワクチン組成物。

【請求項 2】

サポニンが1用量当たり約1 μ gから約5,000 μ gの量で存在し、ステロールが1用量当たり約1 μ gから約5,000 μ gの量で存在し、第4級アンモニウム化合物が1用量当たり約1 μ gから約5,000 μ gの量で存在し、ポリマーが約0.0001%v/vから約75%v/vの量で存在する、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 3】

サポニンがQuail Aまたはその精製画分であり、ステロールがコレステロールであり、第4級アンモニウム化合物がDDAであり、ポリマーがポリアクリル酸である、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 4】

Th2刺激物質をさらに含む、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 5】

Th2刺激物質が糖脂質である、請求項4に記載のワクチン組成物。

【請求項 6】

Th2刺激物質がN-(2-デオキシ-2-L-ロイシルアミノ-)-D-グルコピラノシル)-N-オクタデシルドデカンアミドアセタートである、請求項5に記載のワクチン組成物。

【請求項 7】

糖脂質が1用量当たり約0.01mgから約10mgの量で存在する、請求項5に記載のワクチン組成物。

【請求項 8】

前記抗原成分が不活化ウイルスを含む、請求項1に記載のワクチン組成物。

【請求項 9】

- a) 緩衝液中で抗原成分の組成物を調製するステップ、
- b) ステップaの組成物にサポニンを添加するステップ、
- c) ステップbの組成物にステロールを添加するステップ、
- d) ステップcの組成物に第4級アンモニウム化合物を添加するステップ、
- e) ステップdの組成物にポリマーを添加するステップ

を含む、請求項1に記載のワクチン組成物を調製する方法。

【請求項 10】

サポニンがQuail Aまたはその精製画分であり、ステロールがコレステロールであり、第4級アンモニウム化合物がDDAであり、ポリマーがポリアクリル酸である、請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

ステップaの組成物を均質化し、ステップaからdの各ステップの間に均質化を継続するステップをさらに含む、請求項9に記載の方法。

【請求項 12】

ステップdの組成物のマイクロ流体化を含むステップをさらに含む、請求項11に記載の方法。

【請求項 13】

ステップeの組成物にTh2刺激物質を添加するステップf)をさらに含む、請求項9に記載の方法。

【請求項 14】

Th2刺激物質が糖脂質である、請求項13に記載の方法。

【請求項 15】

T h 2 刺激物質が N - (2 - デオキシ - 2 - L - ロイシルアミノ - - D - グルコピラノシル) - N - オクタデシルドеканアミドアセタートである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

油をさらに含む、請求項 1 に記載のワクチン組成物。

【請求項 17】

抗原成分がネコ白血病ウイルスを含む、請求項 9 から 15 のいずれかに記載の方法。

【請求項 18】

抗原成分がネコ白血病ウイルスを含む、請求項 1 から 8 のいずれかに記載のワクチン組成物。

【請求項 19】

ネコ白血病ウイルスが約 1 0 0 n g / m L から約 3 5 0 , 0 0 0 n g / m L までの量で存在する、請求項 18 に記載のワクチン組成物。

【請求項 20】

請求項 18 に記載のワクチン組成物をネコに投与することを含む、ネコ白血病ウイルスにより生じる感染に対してネコを治療する方法。

【請求項 21】

ネコ白血病ウイルスにより生じる感染に対してネコを治療するための医薬品の調製における、請求項 18 に記載のワクチンの使用。

【請求項 22】

O R N / O D N をさらに含む、請求項 1 から 8 のいずれかに記載のワクチン組成物。

【請求項 23】

O R N / O D N が C p G である、請求項 22 に記載のワクチン組成物。